

やすらぎ

平成20年6月1日
〔第110号〕

発行 御所モラロジー事務所 発行責任者 吉田 実
〒639-2241 奈良県御所市茅原118-1 TEL/FAX 0745-64-3030 E.mail gose-mc@m5.kcn.ne.jp

世話人制度推進をめまして地区委員会開催

4月29日、4月度の地区委員会が事務所で開催され、今回は世話人制度推進のため倉本世話人委



員長も出席した。代表世話人より、地区委員と世話人制度について、地区委員は単なる物品の配布から、本来の任務である「お世話係り」として活躍して欲しいと話があった。

倉本世話人委員長より「世話人制度」とは個人開発のシステム化であり、力ある事務所づくりのため、個人訪問を精力的に行なうことであると説明があった。

地区委員会の持ち方について意見交換が行なわれ、先ず配布物の作業を行い、その後世話人会議に移行し、最後は地区毎の会議にしたいとの委員長の意見に、一部の地区委員からそのようなつもりでこの会議に出席していないと意見があり、世話人会議は自由参加、地区毎の会議は日を改めて開催するという事になった。委員長より、今回は世話人制度のビデオを見る勉強から始めたいと話があり、午後9:40終了した。代表世話人が、事務所の最重点課題として世話人制度の推進に力を入れているものの、この会議では建設

的な意見が出ず、委員との意識の違いが表れ、前途多難を感じさせた。

広報委員長 米田徳七郎

社会貢献

清掃奉仕

5月18日(日)事務所清掃の日、事務所内の清掃を1時間ほど行った後、今回始めて事務所から吉祥草寺まで、更に北から西へ回って、事務所周辺の空き缶やゴミ拾いを行いました。事務所近辺の皆さんに対して、何かご奉仕をさせて頂こうという思いからの行動です。

事務所前の川には、空き缶やゴミが少し有りましたが、吉祥草寺までの道路には殆どゴミは見受けられませんでした。境内は綺麗に掃き清められていましたので、駐車場や外回りのゴミ拾いをしました。

お寺からコンビニへ、コンビニ角から緑町交差点に向かいました。このあたりの川には相当の



缶・ビン・ゴミが捨てられていました。

車の通行量が多い中、注意しながらの作業で、ゴミを拾っていることがドライバーに分かると、

大きくそれてくれたり、最徐行で通過してくれる車が多かったのは嬉しいことでした。

緑町から千早紙工さん角を曲がり事務所まで戻り、事務所でゴミの分別を行い約1時間の活動でした。

「社会に貢献する」。何をすればいいのかわからないまま、昨年1年やらせていただきましたが、今回初めて行動することにしました。

単発的な事となりますが、次回も何か考えて行動したいと思います。

社会貢献委員

雄大な景観と釈迦如来像

5月5日、端午の節句。午前中はまずまず、午後には崩れる、と言う天気予報の中で御所を出発。

諸事情があり、今回の歩こう会は4人の参加。

十津川村旭ダムの湖畔を詰めること1時間、林道の最奥に太尾登山口が



出来ていた。標高は1400mに近い。雨が少し降っているため、雨合羽をつけ、傘をさして歩き始めるが、天候を考えると気は重い。旧の登山道と出会う地点で、もう少し歩いてみようと、それから30分、「古田の森」辺りに差し掛かった時には、隣の奥駈道の稜線がしっかりと見え出し、大日岳の特徴的な尖峰が霧もやの中にくっきり。「わ、すごい」「おお、きれい」の連発。なんと遙か遠くには金剛葛城も見える。

釈迦ヶ岳の山容も目の当たりになり、この頃には全員山頂に立つ覚悟が出来上がっていた。Mさ

んをはげまし、最後の急登をすると、霧の中に有り難い釈迦如来の像が現われた。日本200名山、釈迦ヶ岳1799.6mの頂上である。

次つぎと登山者が訪れる山頂を、雨が強くなっ



てきたので、早々に辞し途中の「千丈平」で昼食にする。定番のざるそばは今日の天候にはそぐわなかった。元の

登山口には午後1時前には到着。4時間余りの行動になった。

帰りは、「夢の湯」の菖蒲湯に入って、フルーツロードを下市まで下り帰って来た。

思わぬ達成感に酔い、次の計画、槇尾山のハイキングを約して解散した。

とく

マツムラ四国巡礼の旅 第八話

四月二十六日朝四時半出発、十時十分三十七番札所岩本寺に到着する。運転は吉井さん。今回のお遍路は全行程ドライブ行脚である。

興味のあるこの寺は、三十年以前に天井画が五十五枚はめこまれ、その中にマリリン・モンローの絵があると新聞記事に載っていた事があった。しかしながら、うすぐらい天井画の中からモンローを見出すことは出来なかった。もう一つ、一堂の中に本尊が五体祀られ、しかも秘仏で六十年に一度だけの開帳だと聞くめずらしい寺ではある。

寺を出て先をいそいでいた。四万十川では、パ

ラグライダーが川面からあまり高くないところで、羽ばたきを休めたち



ょうちょうのように、音もなく旋回し続けていた。絵画のようなあの風景は以前イギリスの郊外で

何度か見かけていた。久しぶりになつかしい感がある。

歩きたいと思う気持ちを抱いて左手の窓から外を見続けていた。左直下に白波と角張った黒い岩だらけの海岸。その左を遠方へとたどるむこうに半島があり、白亜の灯台と金剛福寺がある足摺岬がかすむ。今、四国の最南端へと近づきつつある。

話では、南方の海上に補陀落の観音浄土が、あの海と空の向うにあるらしい。この断崖絶壁の渡海の地から、多くの僧が死出の旅に出ていった。六十年前、三十二歳で輸送船と共に沈んでいった父と同処へ。

ひるめしはいつもチャンスを逸して難儀する為、あっちこっちと全員が目を皿にし、ようやくSさんの指さした市場の店の奥で、Yさんはカレーとうどん、Kさんは雑魚めし、Sさんと私は念願の鰹のたたきを注文した。Yさんは辛いと云い、Kさんは底にごはんを残し、Sさんは・・・内緒。私は大変満足した。



宿毛の松田川には、川幅いっぱい鯉のぼり百八匹泳いでいた。

巡礼の旅も高知から愛媛に。「菩提」云う無上境地に導かれて来ていた。運転はT・KさんとY・Sがあらたに加わって、本当ならK・Uさんの持ち場であつたらうと思った。

仏木寺の境内で米田さんが「真言密教とは何ぞや」と私に問うて来た。

私にわかることではない。恵果が「このままではかけがえない法皇の密教が滅んでしまいます」と日本から来た空海に、十年かかるといわれた大法をわずか三ヶ月で伝授された。八ヶ月唐の都長安に居て、先に帰国した最澄が何度も腰を低くして空海に教えを乞うたがその都度断った。

そこに何かがある。私の若かりし頃高野山で老僧から説明を受けその後幾度も知ろうとした。即身成仏等と共に天空の月をつかもうとするようなものである。昔、祖母が「マジナイ」という言葉を口にしていた。

明石寺はめいせき寺と呼ぶ。欽明天皇の時代に始まるという。仏教伝来は五三八年であるからちよつとあやしい。この寺から大宝寺に向う途中に大師ゆかりの十夜ヶ橋がある。この橋の下で一夜を明かされ、あまりの寒さに一夜が十夜に感じられたらしい。以来遍路は橋の上で金剛杖を突くのがタブーとなった。大師の愛弟子の吉井さんより、今までに七回程注意されたので理解できた。

四十四番札所大宝寺には大きな檜と杉の木がそそりたっていた。そこでひととき米田さんの御高説をお聞きし、玉置神社の神代杉三千年を思い出した。人後に落ちない徒歩組(かちぐみ)がY・Sさんをも労して乗客組になってしまった。

南無大師遍照金剛

トーマス・マツムラ

均とマサヨの独逸見聞録 その1

ドイツフライト1週間前に、私達の乗るKLMオランダ航空の便が急遽ルフトハンザに(機材メンテナンスの為)閑空で3時間前に搭乗手続きを開始するが、案の定KLMからルフトハンザに連絡が入っておらず、なんやかんやで、1時間。続く、機内持ち込みチェックで、預ける荷物が、重すぎたようで、また別の鞆に入れ替え、搭乗手続きのカウンターへ。鞆の中の「白あんと黒あん」があたふた。フライト30分前、何とか出発ゲートへ滑り込みセーフ。

こんな旅の始まりです。この後どうなる事やら・・・ 次回につづく

5月運営委員会報告

5月22日午後8時より事務所において委員14人が出席して5月度の運営委員会が開催されました。吉田代表世話人は「4月25日(金)から27日(日)まで地方責任者研修会(本部)に参加して来ました。廣池千九郎博士の墓参りに行き、心新たにモラロジーを頑張る気持ちになりました」と挨拶しました。

報告事項

1. 「地方責任者研修会」について(代表世話人) 教育活動方針として、次の6項目が発表されました。

世話人制度の充実(お世話活動)
維持員増の取り組み
ニューモラル誌の増配
道徳日本建設に向けた努力
学校における道徳教育の支援
道経一体思想の普及

また、廣池学園創立75周年記念事業募金(1口10,000円3口以上)の依頼がありましたので、ご協力ください。

2. 「第12回生涯学習セミナー」について(山下幸則) 実行委員長次のとおり発表されました。

- ・開催日 平成20年9月18日(木)、19日(金)
- ・会場 御所市アザレアホール
- ・講師 B講師...一角昌博氏(加古川事務所)、
A講師...山田修氏(名古屋中村事務所)
- ・役割 実行委員長 山下幸則、副実行委員長
岡川福弘(講師関係)、藤本元祥(会場関係)、
富士俊隆(受講関係)、上田均(会計文書関係)、
川崎徹(危機管理)、その他の役割も決定
- ・今後の日程 7月13日(日)セミナー事前打ち合わせ(大阪出張所)、8月2日(土)祈願参拝(伊勢神宮)、8月4日(月)事務所開き、他実行委員会を順次開催

3. 女性クラブ(山原女性クラブ長)

女性のつどいを次のとおり開催予定、詳細は6月7日(土)女性クラブ委員会で打ち合わせすると発表ありました。

- ・開催日 7月11日(金)
- ・会場 事務所講堂

- ・講師 前田道弘氏(近畿ブロック長)

- ・参加者目標 80名

また、奈良県協議会主催の講演会が下記の通り開催され、当事務所から11名参加します。

- ・開催日 6月26日(木)
- ・会場 郡山講堂
- ・講師 杉本蓉子氏
- ・テーマ『家族のきずな家族力の再生』

審議事項

1. 「新入会員」の件について
来山昭(きたやま あきら)さんの入会が承認されました。
2. 会費(前期分)の徴収について
6月29日(日)までに各地区連絡係が徴収いたします。
3. 「伝統の日」の参加について
計画中の本部行き(5月31日(土)~6月1日(日))は、申込み人数が少数のため中止とします。代わって、6月8日(日)の瑞浪会場への参加が提案され、有志による任意の事業とし、20名以上の参加希望者があれば事務所行事とすることも考えることになりました。

編集後記

今回「やすらぎ」の編集を順番で担当することになり戸惑いましたが、(出会いはハプニング。おそれず、楽しみたい)日野原重明著に勇気をいただき皆さんに教えを請いながら楽しみになるよう努力させていたきたいなと私に言い聞かせ...ました。何年も一人で発行していただいた南さんに感謝します。

今回から連載で上田御夫婦の私達の知らない意外なドイツ、ドイツ人など、四ヶ月にドイツにホームステイした時の体験記、珍道中記が始まります。

お楽しみに・
よう